

平成26年度施策評価調書

整理番号	20
評価担当課	建設水道部都市整備課

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	幹線道路の整備(3-12-2)		
総合計画の位置づけ	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
	主要施策	12	道路の整備

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	幹線道路の整備については、公共施設や住宅地が張り付いている生活道路、交通量の多い国道や道道に効果的に連絡する路線を考慮し、計画的に整備する。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	計画路線を順次実施している。なお、国庫補助金(交付金)及び合併特例債や過疎債などの活用を図り、市単独事業費の削減に努めている。
施策の課題	昨今の国の情勢からも、国庫補助事業(交付金)の減額が予想される中、道路整備の進捗に影響を及ぼすことと思われる。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H23	H24	H25	目標年度(H28年度)
幹線道路の整備	改良舗装整備目標延長(9路線累計)に対する達成率	目標値(m)	1,898	3,434	3,640	5,644
		実績値(m)	1,898	3,434	3,640	—
		進捗率	100%	100%	100%	—

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	道路整備は高額な事業費がかかるため国庫補助事業(交付金)を頼りとしている。舗装率向上のために、今後も引き続き、優先順位、市民要望の高い道路について事業化できるよう継続的に要望していく。	A:計画目標に向けて順調に推移 B:計画目標に向かって概ね順調 C:計画目標に向けて進捗はやや遅れている D:計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

整備に対する市民要望が強いため、今後も国庫補助(交付金)事業要望は、市建設事業全体のバランスを考えた上で進める。

6 ワーキンググループの意見等

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H25年度実施事業

事業 番号	事務事業名	事業の概要	H25決算額	1次評価						外部 評価	2次 評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	昭和通	市街地幹線道路の改良舗装 で快適な都市環境の整備	38,276	a	a	a	a	a	A	A	A
2	徳田18線緑丘連絡 線	郊外地幹線道路の改良舗装 で快適な都市環境の整備	37,572	a	a	a	a	a	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)